

令和8年度平塚市立土屋小学校グランドデザイン

強み

・学年を超えて仲が良い
個々の関わりが深い
安全への配慮が高い
保護者・地域との連携

<学校教育目標> ○全員が幸せになれる学校

基本理念

○子どもは本来有能である
○学校は人格の完成をめざすところ
○誰かの役に立つことや、自分が努力したこと、自分を好きになれる

★小規模特認校スタート

多様な人たちと折り合いをつけながら、夢の実現を目指す

教育方針

- ①安心・安全な学校づくり(凡事徹底)
セーフティプロモーションスクール活動の推進
- ②一人も見捨てず全員が分かることを目指す学校・学年づくり
- ③たてわり活動の充実を図り交流
⇒★異学年交流(学習を含む)&学校間交流(学校評価)
- ④地域・保護者との目標(夢)を共有化し連携していく
⇒全員対象の個々面談で学習の成果や生活を共有化する
学校運営協議会と連携し、全員が幸せになれる学校を目指す

学校間交流

- ①伊勢原市立大山小学校(4～6年生)
- ②平塚市立吉沢小学校
- ③新しい学校を探す

★SPS活動

世界一安全な学校を本気で目指す

- ・SPSサポーター委嘱(4～6年生全員)
- ・生活安全(第1期)
→災害安全(第2期)
- ・自助から共助へ
- ・自治会との連携
- ・地域への回覧等発信
- ・安全委員会の活動
- ・他校への実践紹介

学校像①学力向上とコミュニケーション能力の育成

- 全員で学び合って、学力を高める学校
- 安心・安全な学校
- いじめがなく居心地の良い学校
- 子どもや保護者が気軽に相談できる学校
保95⇒99% 子96⇒96%

学校は子どもたちの成長の場になっている100%

学校に来ると楽しいことがある 94%

学び合い

認め合い

高め合い

全員で協力して目標を達成
主体的・対話的な学びの確立
学習計画表による学びの計画

★発信力の向上(学校評価)
★もっとやりたいと思える(学校評価)

多様な人と前向きにかかわる

一人も見捨てない心を育てる

助け合っている 97%⇒97%

言葉遣いに気を付けている 89%⇒96%

★異学年交流を日頃から行う
★交流の目的を共有する(学校評価)
★お互いにとって良くなる交流

仲間のがんばりを見て、自分もがんばろうとする

(学習・運動・生活全般)

安全な生活を心がける(自助・共助)

よきライバルを見つける

(前の自分&仲間)

★お互いのよさを見つける(学校評価)

『学び合い』

共に生きる

全員で高まる

全員が分かることをめざす授業づくり

お互いを認め合える学校・学年づくり

高め合える学校・学年づくり

達成するため

学校像②教職員が意欲を持って仕事にあたり生きがいを感じる学校

- 目標に向かって学び合う教職員チームとして主体的・協働的に課題を解決していく
- 学年を超え土屋小全ての子どもたちを育てていこうとする教職員
- 真摯かつ志高く持ち、子どもたちの未来の姿を意識して教育活動を進める教職員
- 自ら積極的に発信し、子どもや保護者の思いを受け止め、信頼される教職員

★定期的な職員研修(学校評価)

★一教職員や子どもたちが常に称賛し合える雰囲気づくり(学校評価)

★子どもたちが頑張っている様子を日頃から伝える(学校評価)

学校研究の充実

全員が学びに向かう姿勢を育む授業づくり・学び合いと学習計画表(学校評価)

- 指導・支援をすること(できないままにしないで、フォローしていく)
- 環境づくり(学習計画表を活用する・常に良い点を評価していく)
- 課題設定(個々に合わせた課題を設定し、できたことを実感できる授業)

地域の絆

学校像③土屋の地域に息づき、保護者や地域の人たちが絶えず足を運ぶ学校

- 恵まれた自然や伝統と文化を持ち、誇り高い地域の人々の教育力を生かす学校
- 保護者や地域の人たちが信頼と関心を寄せる学校

竹細工

保育園交流

米作り

金融教室

菊づくり

各自治会

走り方教室

ひよこコンサート

★はばたき進和

里山の会

東海大学との交流
生き物観察会
草木染

親子ふれあい教室

図書ボランティア

公民館との連携活動